



にっぽん文楽シンポジウム 「日本の芸能と信仰」

今年10月、浅草寺本堂裏に本格的なヒノキ造りの舞台を特設し「にっぽん文楽 in 浅草観音」公演が行われる。これを前に、にっぽん文楽シンポジウム「日本の芸能と信仰」が開催される。

歴史的に、信仰は芸能と深い関わりを持って来た。というよりも、能の原点が「翁」であるように、信仰の中から芸能は生まれた。「芸能の源は信仰にある」と言っても過言ではないだろう。浅草寺にも、「三大寺舞」と呼ばれる「金龍の舞」「白鷺の舞」「福聚の舞」が伝わる。

また、能・文楽・歌舞伎を始めとした伝統芸能作品の中には、寺社を物語の舞台とするなど、縁起物語を典拠として作られた作品が数多くある。全国各地に伝わる民俗芸能には、信仰そのもの、といったものもある。シンポジウムでは、3人のパネラーが、それぞれの視点から「信仰と芸能」について語る。

日 時：2016年9月21日（水）13：00～

会 場：バウ・ルーム（東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1階ロビー）

パネラー：田中英機（元実践女子大学教授、元文化庁主任調査官）

壬生真康（浅草寺寿命院住職、聖観音宗宗務庁参務・教化部執事・勸学所長・寺史編纂主任 等）

中村雅之（にっぽん文楽総合プロデューサー、横浜能楽堂館長、明治大学大学院兼任講師、東京都芸術文化評議会専門委員）

司 会：氷川まりこ（伝統芸能ジャーナリスト）

参加費：無 料

お申込み：①氏名 ②参加人数 ③電話番号 ④FAX番号（お持ちの方のみ）を明記の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。

FAX：03-6233-8947/E-mail：info@nipponbunraku.com

※先着順、定員に達しましたらお申込みは締め切らせて頂きます。

お問合せ：にっぽん文楽プロジェクト TEL：03-6233-8948（平日10：00～17：00）

主催：にっぽん文楽プロジェクト／助成：日本財団

後援：文化庁

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

にっぽん文楽 in 浅草観音

2016年10月15日（土）～18日（火） 昼12:30/夜18:00 会場：浅草・浅草寺境内（本堂裏）

チケット：2,000円（自由席） チケットぴあ、ローソンチケットにて発売中

演 目：「五条橋」豊竹睦太夫、野澤喜一朝、吉田文昇ほか

「壺坂観音霊験記 山の段」豊竹靖太夫、豊澤富助、吉田和生、吉田玉男ほか